

社団法人地盤工学会 平成 20 年度 第 1 回総務部会  
議 事 録

日 時：平成 20 年 4 月 11 日 ( 金 ) 15:00 ~ 19:30	場 所：学会 3 階会議室	
出席者：後藤 聡 部 長	安田 進 副会長	天野 玲子 理 事
坪田 邦治 理 事	桑野 玲子 部 員	田地 陽一 部 員
本田 道識 部 員 ×	松島 亘志 部 員	
事務局：戸塚 弘	事務局：浅野 有三	

(議事録担当者：松島 部員)

( : 出席、× : 欠席)

議 題：

【報告事項】

- 1 . 経理関係報告 〔別添資料 - 1〕〔別紙 - 1〕 p.1
  - \* 19 年度全体の収支経理報告があった。なお、図書販売キャンペーンの効果がどの程度あったのか、事業部に確認する。
- 2 . 広報関係 〔別紙 - 2〕 pp.2-12
  - \* 別紙 p.10 ~ 12 の各部への要請文書は、審議事項として検討した。
  - \* 外国人用の学会へのアクセス情報(案)(p.5 ~ 8)については了承され、国際部と連絡を取り合い HP にアップすることとした。
  - \* IT 関連システムの運用現状について追加資料に基づいて説明がなされた。
  - \* 新 HP は平成 20 年 10 月に試行版完成、平成 21 年 1 月完成の予定との報告がなされた。
  - \* 電子図書館のサーバー運用に関して、調査・研究部への協力要請書については、基本的に了承され、今後、調査・研究部と協力して効率的なサーバーシステムを作成していくこととなった。
  - \* 会員データベースと継続教育のサーバーを統合するかどうか、会員・支部部との調整を図ることとした。
  - \* ネットワーク LAN 機器リースについても今後検討することとなった。
  - \* 新しい HP のセキュリティーに関する議論がなされた。特に、支部や委員会、IS などにサーバーを貸し出せるようなシステムが望ましいとの意見が出された。
  - \* 現在の学会パンフレットが不足する場合は、増刷することとした。
  - \* 平成 19 年度の広報委員会の議事録を HP に公開するように要望があった。
- 3 . その他
  - 1 ) 鹿島学術振興財団 2007 年度研究助成の採択 〔別紙 - 3〕 p.13
    - \* 別紙のとおり報告があった。
  - 2 ) 部員募集結果 〔別紙 - 4〕 pp.14-16
    - \* 応募について報告があった。
  - 3 ) 国際的な防災科学技術情報基盤への登録依頼 〔別紙 - 5〕 pp.17-25
    - \* 会長特別委員会で検討することになったと報告された。
  - 4 ) 学術情報発信支援強化の依頼(化学系学協会連合協議会より) 〔別紙 - 6〕 p.26
    - \* 修正案を地盤工学会も連名になって文部科学大臣に提出したとの報告があった。
  - 5 ) 土木学会出版文化賞受賞内定
    - \* 標記の受賞についての報告がなされた。

『土質力学の父 カール・テルツァーギの生涯』著者：Richard E. Goodman 翻訳：赤木 俊允

6) 文部科学大臣賞若手技術者賞受賞記事の学会誌掲載

\* 会誌部から、関係者に投稿してもらい連絡をすることとなった。

【審議事項】

1. 平成 19 年度決算案 〔別添資料 - 1〕
  - \* 消費税、法人税分を考慮して、地盤工学振興基金に繰り入れることで了承された。
2. 平成 19 年度事業報告まえぶん及び本文（本部関係） 〔別添資料 - 2〕
  - \* 具体的数値は削除し、表現を一部修正することとし、各部のまえぶんは、各部員がチェックすることとなった。  
企画部 安田 / 会員・支部部 後藤 / 国際部 天野 / 会誌部 坪田 / 事業部 桑野 / 調査・研究部 田地  
基準部 本田
3. 平成 19 年度事業報告まえぶん（支部関係） 〔別添資料 - 2〕
  - \* 支部のまえぶんについても各部員がチェックすることとなった。  
北海道支部・東北支部 松島 / 北陸 後藤 / 関東・中部 坪田 / 関西・中国 後藤 / 四国・九州 安田
4. 平成 20 年度事業計画まえぶん及び本文 〔別添資料 - 2〕
  - \* 理事会指摘事項の修正案を了承した。
5. 第 50 回通常総会時の役割分担 〔別紙 - 7〕 p.27
  - \* 提案通りで了承された。
6. 支部長への総会案内 〔別紙 - 8〕 pp.28-30
  - \* 提案通りで了承された。
7. 中長期ビジョンによる理事会構成 〔別紙 - 9〕 pp.31-34
  - \* 理事から届いた意見を理事会に諮ることとなった。
8. 選挙（正副会長選挙、代議員選挙）方法の変更に伴う規定類の改定 〔別紙 - 10〕 pp.35-42
  - \* 選挙規則の 4 条 3 項に「ただし、再任を妨げない」を追加することにより、了承された。
9. 平成 20 年度選挙管理委員会委員 〔別紙 - 11〕 p.43
  - \* 半数交代が望ましく、後藤部長に一任することになった。
10. 災害連絡会議運営細則の変更 〔別紙 - 12〕 pp.44-56
  - \* 3(2)のひな形は安田副会長が作成する。
  - \* 申し送り事項として、3(3)を調査・研究部で対応してもらう。
  - \* 運営細則第 3 条「幹事長には総務部長」とする。
  - \* 組織図も変更が必要。
  - \* 災害連絡会議メンバーで確認して、理事会に報告することとした。
  - \* 災害緊急調査団以外の会員が災害調査を行う際の規則については申し送り事項とする。
11. 社会保険労務士との契約 〔別紙 - 13〕 pp.57-60
  - \* 社会保険労務士への 1 年契約について了承された。
12. 著作権に関する規程改正の提案の検討（継続審議） 〔別紙 - 14〕 pp.61-62
  - \* 著作権について意見交換した。
13. 岩の力学連合会からの転載許可の依頼 〔別紙 - 15〕 pp.63-82
  - \* 土木学会に確認することとした。
14. 「日本の地盤工学を築いた人々」の出版の件 〔別紙 - 16〕 pp.83-88

- \* 学会での出版は困難ではないか、という意見が大勢を占めた。
15. 土木学会よりの地盤工学会刊行物寄贈の依頼 [別紙 - 17] pp.89-92  
 \* 残部があるものについては寄贈することが了承された。
16. 講習会司会者謝礼の件 [別紙 - 18] pp.93-98  
 \* 事業部で行っている講習会について、部員が企画・とりまとめ・司会をやっている。これについて、謝金を払いたい、という要請に対して、学会は基本的にはボランティアでやっているという意見が出された。
17. 「部会、委員会等会議開催についての申合せ」の変更 [別紙 - 19] p.99  
 \* 了承された。
18. 平成 20 年度総務部会構成  
 \* 本田部員の任期満了に伴い、広報委員会の宮田幹事長が部員となることが了承された。  
 \* 次期副会長の西垣先生は、総務担当、風間先生は総務部理事となる。  
 \* 学会に来られない場合は、サテライト会議での部会参加を取り入れていくようにする。
19. その他
- 1) J A C I C からの「研究助成応募要領」の学会誌掲載の希望 [別紙 - 20] pp.100-107  
 \* 会員へのメルマガおよび電子会告に掲示することとした。
- 2) IGS 日本支部からの「第 23 回ジオシンセティックスシンポジウム」共催依頼の件 [別紙 - 25] p.122  
 \* 共催を了承した。
- 3) コピー機のリース内容の変更 [別紙 - 21] pp.108-109  
 \* 了承された。
- 4) 議事録の確認  
 3/7 総務部会 [別紙 - 22] pp.110-111  
 3/18 理事会 [別紙 - 23] pp.112-119
- 5) 次回の総務部会、理事会等の開催期日の確認  

総務部役員会	5/13(火)	14:00 ~ 15:00
総務部会	5/13(火)	15:00 ~ 17:00
正副会長会議	4/25(金)	12:00 ~ 14:00
理事会	4/25(金)	14:00 ~ 17:00

 \* 次回の日程を確認した。
- 6) 各部からの 4/25 理事会提出議題の確認 [別紙 - 24] pp.120-121  
 \* 各部の議案を確認した。
- 7) 総務部からの 4/25 理事会提出議題の確認  
 \* 後藤総務部長と確認することとした。